



アドビ、Adobe Substance 3D のメジャーアップデートのリリースとともに、メタバース体験を強化する新たなイノベーションを発表

【2022年6月14日】

- Adobe Substance 3D は前年比 100%超の成長を達成し、製品に対する強い需要を維持
- Adobe Substance 3D Painter、Adobe Substance 3D Designer、Adobe Substance 3D Sampler が新たに Apple M シリーズにネイティブ対応
- 学生および教員を対象とした Adobe Substance 3D の無償利用の提供範囲を全世界に拡大

※当資料は、2022年6月14日に米国本社から発表された[プレスリリース](#)の抄訳です。

米国カリフォルニア州サンノゼ発：アドビ（Nasdaq:ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ）は本日、開発者向けの 3D Material SDK と強力な新規プラグイン、Adobe Substance 3D Painter、Adobe Substance 3D Designer、Adobe Substance 3D Sampler の Apple M シリーズへのネイティブ対応を含んだ拡張性と性能を向上させる、Adobe Substance 3D のメジャーアップデートを発表しました。加えて、アドビの研究開発部門 Adobe Research が開発中の、魅力的でリアルな没入型エクスペリエンスのデザイン・作成・提供を可能にするイノベーションを先行公開しました。また、大手ブランドが Adobe Substance 3D のツールを使用してユニークな没入型の顧客体験を構築している事例を発表しました。さらに、学生および教員を対象とした Adobe Substance 3D の無償利用の提供範囲を全世界に拡大することを発表しました。



アドビの Creative Cloud 担当エグゼクティブ バイスプレジデント兼 CPO（最高製品責任者）のスコットベルスキー（Scott Belsky）は、パリで開催された顧客向けイベントで次のように述べています。「先見性のある企業は、3D や没入型コンテンツの制作能力を高めることで『メタバース対応』を進めています。これは、3D の専門知識を持つクリエイティブアーティストにとって大きなチャンスです。今回発表したイノベーションは、その数が急速に増加している Adobe Substance 3D のユーザーに新たなスーパーパワーを提供します」

3D と没入型エクスペリエンスを強化する Adobe Substance 3D Collection

3D や没入型コンテンツの重要性が高まるにつれ、ゲーム、エンターテインメント、E コマースの各業界で Adobe Substance 3D ツールに対する需要が増加しています。また、メタバースやその他の没入型エクスペリエンスの提供に取り組む企業が増える中、3D コンテンツ制作は、ますますクリエイティブプロフェッショナルのコアスキルとして位置づけられるようになっていきます。Adobe Substance 3D ツールは前年比 100% の成長を遂げ、今日の月間アクティブユーザー数は数十万人に達しています。

本日アドビが発表した、[Adobe Substance 3D Collection](#) 全体にわたるアップデートには、以下が含まれます。



- **Apple M シリーズのネイティブサポート**：Adobe Substance 3D Painter、Adobe Substance 3D Designer、Adobe Substance 3D Sampler が Apple M シリーズにネイティブ対応し、3D コンテンツ制作者はこれまで以上に迅速に作業できるようになります。この3つのツールはすべて、3D ビジュアルとエクスペリエンスのための唯一のエンドツーエンドソリューションである Adobe Substance 3D Collection に含まれます。
- 新しい [Adobe Substance 3D Materials SDK](#) により、開発者は独自のプラグインを作成し、他のアプリケーション内で Adobe Substance 3D Material と Model エンジンを使用することが可能になりました。これにより、Adobe Substance のマテリアルの力を多くの人に提供することが可能となります。また、新しい [Adobe Substance 3D Automation Toolkit](#) は、Adobe Substance ツールにおけるファイル操作を自動化するための機能を提供します。
- **Adobe Photoshop 内の Adobe Substance Materials プラグイン**は、すでに何十万人もの Adobe Illustrator ユーザーに利用されている Adobe Illustrator 用の既存のプラグインと連携し、ユーザーの時間を節約し、テクスチャやデザインのバリエーション、3D 効果の作成に必要な多数の工数を削減することを可能にします。 [Adobe Substance 3D Plugin for Unity](#) の最新アップデートにより、アーティストは、2D および 3D のマルチプラットフォームゲームやインタラクティブ体験を作成するための開発プラットフォームである Unity エンジン内で直接 Adobe Substance パラメトリック素材を読み込み、適用、修正できるようになりました。
- アドビは年内に新製品 [Adobe Substance 3D Modeler](#) をリリースし、Adobe Substance 3D がカバーする機能に 3D 造形ワークフローを追加する予定です。 Adobe Substance 3D Modeler は、3D モデリングに直感的なアプローチを導入し、ユーザーをこれまでの複雑で技術的な制約から解放します。 デスクトップおよび VR 環境で動作するこのツールは、コンセプトアートの作成、スケッチやプロトタイピング、精緻なキャラクターや小道具の作成、さらにはシーン全体の構築など、幅広い領域へとクリエイティブの可能性を拡大します。



将来のメタバース体験を強化する、アドビの研究機関 Adobe Research 発の新たなイノベーション

研究科学者、エンジニア、アーティスト、デザイナーが集結し、実験的なアイデアを革新的なテクノロジーとして具現化する世界トップレベルの研究機関である Adobe Research は、本日、将来のメタバース体験を強化するための研究プロジェクトを発表しました。

- Adobe Research と Adobe Commerce が提供する新しい AR および 3D ショッピングツールは、オンラインに存在する豊富な商品情報を店舗でのショッピング体験に組み込みます。顧客がモバイルデバイスでスキャンした商品ごとに、パーソナライズされたショッピングのヒント、商品価格比較、レビュー、詳細情報にアクセスできます。これにより、購買客は店頭に居ながらにしてより良い購買決定を下すことができ、小売業者はニーズに合わせてリアルタイムで対応できるツールを手に入れることができます。B2B 企業であれば、この技術を利用して倉庫における在庫管理を最適化することもできます。
- AR 顧客体験を最適化するために、視覚的な詳細を損なわずにロード時間を短縮する新しいインテリジェントな手法を先行発表しました。AI を活用したこの新しいアプローチでは、顧客の視線の動きに基づき最も関連性の高い AR コンテンツから優先的に描画するため、通常必要とされるロード時間を数分の 1 に短縮しながら高品質な AR 体験を提供できます。これにより、多くの企業が悩まされている、大規模で複雑な AR シーンのロード時間の遅さに起因する問題を軽減できます。この技術は Adobe Aero に年内搭載される予定です。

価格と提供時期

Adobe Substance 3D Painter、Adobe Substance 3D Designer、Adobe Substance 3D Sampler の Apple M シリーズネイティブ対応および Adobe Photoshop 内の Adobe Substance Materials プ



ラグインは本日より提供を開始します。Adobe Substance 3D Plugin for Unity は今月末に、現在ベータ版である Adobe Substance 3D Modeler は年内に提供を予定しています。

また、今年の夏よりアドビは、Adobe Substance 3D の無償利用を、世界中のすべての学生および教員に拡大します。Adobe Creative Cloud コンプリートプランに加入している大学では、すでに [Adobe Substance 3D](#) を無料で利用することができます。

さらに、アドビは、フランスの [RUBIKA DESIGN Valenciennes Design School](#) や米国カリフォルニア州パサデナの [ArtCenter](#) など、3D や没入型コンテンツのカリキュラムについて教育機関と提携しています。

■ 「アドビ」について

アドビは、「世界を動かすデジタル体験を」をミッションとして、3つのクラウドソリューションで、優れた顧客体験を提供できるよう企業・個人のお客様を支援しています。[Creative Cloud](#) は、写真、デザイン、ビデオ、web、UX などのための 20 以上の デスクトップアプリやモバイルアプリ、サービスを提供しています。[Document Cloud](#) では、デジタル文書の作成、編集、共有、スキャン、署名が簡単にでき、デバイスに関わらず文書のやり取りと共同作業が安全に行えます。[Experience Cloud](#) は、コンテンツ管理、パーソナライゼーション、データ分析、コマースに対し、顧客ロイヤルティおよび企業の長期的な成功を推進する優れた顧客体験の提供を支援しています。これら製品、サービスの多くで、アドビの人工知能 (AI) と機械学習のプラットフォームである [Adobe Sensei](#) を活用しています。

アドビ株式会社は米 Adobe Inc.の日本法人です。日本市場においては、人々の創造性を解放するデジタルトランスフォーメーションを推進するため、「心、おどる、デジタル」というビジョンのもと、心にひびく、社会がつながる、幸せなデジタル社会の実現を目指します。

アドビに関する詳細な情報は、web サイト (<https://www.adobe.com/jp/about-adobe.html>) をご覧ください。



###

© 2022 Adobe. All rights reserved. Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.